


医療機関向け 研修提供サービスの ご案内



株式会社ケアネット

【2026.01】

医療機関向け 集合型研修メニュー



研修名	ページ
①報告文化を育てよう！～インシデント報告の重要性～	2
②事例から考える 医療現場の個人情報の取扱い	2
③エラー防止の実践～5S・KYTを活用して～	3
④医療安全のためのノンテクニカルスキル	3
⑤ワークで学ぼう！みんなのSBAR ～報告・連絡のためのコミュニケーションスキル～	4
⑥患者・家族との良い関係を築くコミュニケーション ～納得と信頼を築くために～	4
⑦チームワークを高める「心理的安全性」	5
⑧医療安全のためのアサーション ～自分も相手も大切に作るコミュニケーションスキル～	5
⑨医療サービス職のためのトラブルを回避する伝え方	6
⑩感染管理の原理原則と感染症の最新情報	6
⑪医師が語る 誤嚥防止 ～摂食嚥下とは～	7
⑫医師が語る 事例から学ぶリスクマネジメント	7
⑬警察OBが語る 院内クレーム・暴力対応の実際	8
⑭医療勤務環境改善セミナー	8
⑮「問題解決能力向上研修」 ～医療安全の課題を見つけられるようになろう～	9

①報告文化を育てよう！～インシデント報告の重要性～

- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 60分
- ◆概要 リスクマネジメントにおける「リスク把握」の重要性と、インシデント報告が医療安全に果たす幅広い役割について整理します。また、病院におけるインシデント報告の活用方法について分かりやすく解説します。
- ◆主な内容
 - ・ リスクマネジメントプロセス
 - ・ インシデント報告の意義
 - ・ インシデント報告の活用



ミニテスト提供可

②事例から考える 医療現場の個人情報の取扱い

- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 60分
- ◆概要 医療現場での個人情報の取り扱いについて、具体的な対応方法を整理します。安全な医療の提供に必要な情報を有効活用するためには、個人情報保護法を正しく理解し、適切な管理をすることが重要です。また、漏えい等の報告の義務化への対応についても解説します。
- ◆主な内容
 - ・ 個人情報保護法を理解する
 - ・ 個人情報をめぐる様々な報道
 - ・ 個人情報の適切な取り扱いのための対策



ミニテスト提供可



③エラー防止の実践 ～5S・KYTを活用して～

- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 60分
- ◆概要 ヒューマンエラーの特性に基づいて、5S(整理・整頓・清潔・清掃・習慣化(しつけ))やKYT(危険予知トレーニング)を活用したエラー防止策を解説します。
- ◆主要内容
 - ・ ヒューマンエラーの特性
 - ・ モノ・環境を見直す重要性
 - ・ 5S・KYTのいかし方



ミニテスト提供可

④医療安全のためのノンテクニカルスキル


- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 60分
- ◆概要 職員間のコミュニケーションを中心に、医療安全のためのノンテクニカルスキルを考えます。職員間のコミュニケーションエラーによる医療事故がどのように発生するのか、どうしたら防げるのかを具体的な事例をあげながら解説します。
- ◆主要内容
 - ・ メンタルモデル共有の重要性
 - ・ コミュニケーションの失敗と医療事故
 - ・ コミュニケーションエラーを防ぐために
 - ・ エラー回復を促進させるための考え方とスキル



ミニテスト提供可

⑤ワークで学ぼう！みんなのSBAR

～報告・連絡のためのコミュニケーションスキル～

- 
- ◆対象者 全職員
 - ◆所要時間 60分～75分
 - ◆概要 医療現場で、状況を確実に伝えるために必要なコミュニケーションスキル(SBAR:エスバー)について、ワークを通して理解していただきます。
 - ◆主な内容
 - ・ SBARを用いて報告・連絡を行う意義や方法の解説
 - ・ 具体的な伝達場面の例を用いて台詞の作成(グループワーク)
 - ・ スキルを活用するための留意点



ミニテスト提供可

⑥患者・家族との良い関係を築くコミュニケーション

～納得と信頼を築くために～

- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 60分
- ◆概要 患者・家族とのコミュニケーションでは、何に注意し、どのように対応したらよいかを、具体的な事例で解説します。
- ◆主な内容
 - ・ 患者・家族とのコミュニケーションの特徴
 - ・ 情報の送り手と受け手のメンタルモデルの違い
 - ・ 日常の診察場面における言語・非言語、コミュニケーションの重要性
 - ・ 情報を正しく伝える工夫



ミニテスト提供可



⑦チームワークを高める「心理的安全性」

- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 60分
- ◆概要 今、チームで安全な医療を提供するための「心理的安全性」(気兼ねなく発言できる雰囲気)が注目されています。心理的安全性の意義や、それを高める方法を解説します。
- ◆主な内容
 - ・ 心理的安全性とは
 - ・ 心理的安全性とコミュニケーション
 - ・ 心理的安全性を高めるメンバーとリーダーの役割
 - ・ 心理的安全性と責任



⑧医療安全のためのアサーション

～自分も相手も大切にするコミュニケーションスキル～

- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 60分
- ◆概要 チームで仕事をする医療現場で、どのように自分の気持ちや考えを率直に伝えていけばよいでしょうか。自分も相手も大切にする自己表現のスキルであるアサーションを理解し、「伝えにくいことを伝える」ためにどのように表現していけばよいかを考えます。
- ◆主な内容
 - ・ アサーティブとは
 - ・ 医療安全とアサーションの関係性
 - ・ アサーティブな自己表現ができる条件

⑨医療サービス職のための トラブルを回避する伝え方

- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 60分～90分
- ◆概要 「言ってしまいがちな伝え方」からそれぞれのデメリットを考え、相手に配慮しながら伝えたいことを明確に伝えるための方法を解説します。事例を使って「トラブルを招かない」伝え方が習得できます。
- ◆主要内容
 - ・ 職員にとっての「コミュニケーション」の重要性
 - ・ 「伝え方」で変わる「伝わり方」
 - ・ 自分も相手も大切にできる会話法
 - ・ 気まずくならない「NO」の伝え方



⑩感染管理の原理原則と感染症の最新情報

- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 60分
- ◆概要 医療安全研修と並び感染症に対する研修会も、医療の質を担保するうえで不可欠の研修となっています。リスクの高い患者が多い中で、注意すべき点を整理し、今だからこそ行う感染対策の基本を再確認します。
- ◆主要内容
 - ・ 感染とは
 - ・ 院内で守らなくてはならないルールと動機づけ
 - ・ 感染対策について

⑪医師が語る 誤嚥防止 ～摂食嚥下とは～

- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 60分～90分
- ◆概要 口腔から食道までの構造を解説し、人がものを飲み込む動作の中でどのような時にむせ込むのかを整理します。嚥下の機能を理解したうえで、食を提供する際の注意点、むせてしまった時の対処方法などを理解します。嚥下機能の実際を見ることもできます。
- ◆主要内容
 - ・ 嚥下に関する解剖整理
 - ・ 嚥下運動と誤嚥
 - ・ むせ込み時の対応

⑫医師が語る 事例から学ぶリスクマネジメント

- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 60分
- ◆概要 医療事故の賠償査定に携わる医師が、様々な事例を用いて医療安全について解説します。
(医師を対象とする研修にもお勧めです。)
- ◆主要内容
 - ・ 医療事故訴訟の現状
 - ・ 医療事故の発生状況
 - ・ 実際の事件事例を用いた解説



⑬警察OBが語る 院内クレーム・暴力対応の実際

- ◆対象者 全職員
- ◆所要時間 90分(時間に制約がある場合は、ご相談ください。)
- ◆概要 警察OBが、大学病院の渉外室担当の経験をもとに、事例をまじえながら、暴力を振るう患者への職員の対応や病院としての取組みについて、具体的に解説します。
- ◆主要内容
 - ・ 病院における暴力の実際
 - ・ 患者が怒る理由と、クレームに対する具体的な対応
 - ・ 警察との連携



⑭医療勤務環境改善セミナー

- ◆対象者 管理職
- ◆所要時間 60分～90分
- ◆概要 2024年4月より勤務医の時間外労働の上限規制の適用が始まりました。医師の働き方改革に伴い、勤務間インターバルや代償休息、面接指導などやらなければならないことについての再確認と、具体的な対応に関して説明をします。
- ◆主要内容
 - ・ 時間外労働規制について
 - ・ 2024年4月1日以降の36協定について
 - ・ 追加的健康確保措置及び立入検査について

15 問題解決能力向上研修

●このような人材育成を目指します

本研修は、業務を単にこなすのではなく、問題解決能力を養うことにより、医療機関の経営改善に本当に貢献する次世代のリーダーを育成することが目的です。問題解決能力は職種とは関係ありません。したがって事務職員をはじめ、医師、看護師、コメディカルなどやる気があればどなたでも構いません

このような事務職員から

経験と勘で語る



このような事務職員へ

「論理」と「ファクト」(データ)で語る

言われたデータを提出するだけ



「何故」を問いかけ、自ら分析を行い意見(仮説)を持つ

既成概念に捉われ、できない理由ばかり考える



ゼロベースで、どうやったらできるかを考える

●研修の特長

特長 1 問題解決スキルを養います

特長 2 医療機関が直面する課題に特化したプログラムです

特長 3 基本から実践へと進むことで本当の実践力を養います

●研修の概要

2段階のプログラムをご用意しております

…なおプログラムは貴院の状況を踏まえ、柔軟にアレンジします(期間など)。お気軽にご相談ください

プログラム	概要	内容	研修時間/期間
基本編	問題解決の基本スキルを講義とケーススタディー*で学びます	問題解決に必要なスキル(思考スキル、情報収集/分析スキルなど)を体系的に学ぶと同時に、ケーススタディー(「収支改善」、「手術室の生産性向上」など)でその力を試します	半日~1日間

*ケーススタディーは、問題解決スキル向上を目指して弊社が独自に開発したものです。研修はグループワークで行います

料金について

研修料金は、「講演料＋交通費・宿泊費(実費)」です。

【研修 ①～⑭ 講演料】

1講座 **275,000円**(税込)です。

【研修 ⑮ 講演料】

基礎編
半日 **330,000円**(税込)です。
1日 **550,000円**(税込)です。

※交通費は、**当社の本社所在地を起点**といたします。

※研修内容等のご要望および、研修メニュー以外の研修(事例分析、リスクマネージャー養成等)につきましては、**別途企画料が発生する場合がございます。**

詳細につきましては、下記メールアドレスでご相談ください。

※お申込の際は、ホームページ掲載の『研修申込書』をダウンロードしてご利用ください。

お問合せ用メールアドレス

: cn-mrm@carenet.co.jp

研修申込みについて

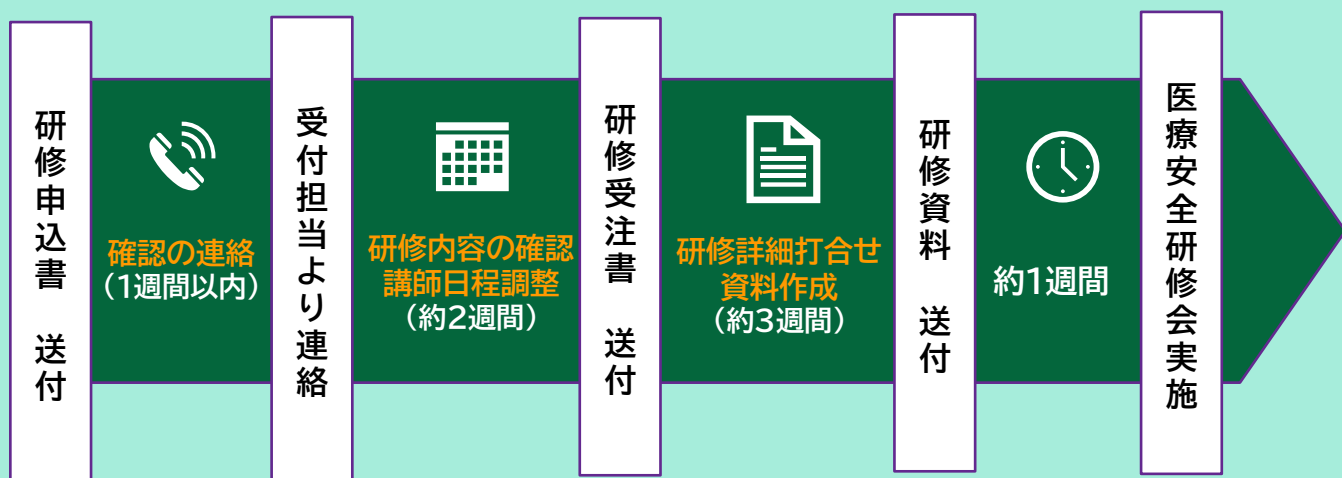
- ・ 研修申込ご希望の際は、ホームページに掲載しております「研修申込書」をダウンロードしてご利用ください。

ホームページURL: <https://cn-mrm.net>

研修申込書送付先: 利用申込書送付先:cn-mrm@carenet.co.jp

❖ 研修申し込みから研修日まで ❖

- ・ 研修申込書に必要事項をご記入いただき、上記メールアドレスに添付してお申し込みください。
- ・ 弊社にて研修申込書を受領後1週間以内に、担当より確認のご連絡をいたします。
- ・ 下記スケジュールに沿って日程調整などいたしますので、お申込みは、**研修実施希望日の2ヶ月前まで**にお願いいたします。



※ご記入いただいた個人情報は、研修に関するご連絡と、希望された資料の送付のみに使用させていただきます。

…… ミニテストのご案内 ……



ミニテスト提供可

- ✦ 左記マークが付いている研修メニューは、数問のミニテストを提供しています。

- ✦ 『受講の把握』、『内容の理解度の把握』などの目的に応じてご活用ください。

詳細はご相談ください。



<https://www.carenet.co.jp/>

弊社は、医療従事者向け専門メディア・教育サービスを長年にわたり提供してきた企業として、医療現場の質と安全性の向上を支援してまいりました。医療安全研修事業においては、医療機関・医療従事者の皆さまが安心して学び、実践につなげられる研修を目指し、専門家の知見に基づいたコンテンツ提供と、適切な個人情報管理体制のもとで運営を行っています。今後も、医療現場に寄り添いながら、医療安全の向上に貢献する研修・情報提供を継続してまいります。

株式会社ケアネット メディア事業本部

〒102-0071

東京都千代田区富士見1-8-19 住友不動産千代田富士見ビル12階

Mail cn-mrm@carenet.co.jp